

研究課題名：	偶発性低体温症に対する体外式膜型人工肺 (ECMO) の有用性についての学会主導多施設共同前向き観察研究
研究機関名 所属（診療科等）：	総合研究代表者 旭川医科大学病院 救急医学講座 高氏 修平
研究責任者及び職名：	さいたま赤十字病院 救急科 医師 早川 桂
研究期間：	治験審査委員会承認後 ～ 2023年 3月 31日
研究の目的と意義：	偶発性低体温症とは寒冷暴露などによって発症し、重症な例では死亡にいたる重大な疾患です。海外では近年、この高度偶発性低体温症に対して体外式膜型人工肺 (ECMO) と呼ばれる機械を用いて復温する治療がされていますが、この治療の実態については未解明な点が多くあります。本研究は北日本を中心とする多施設において、高度偶発性低体温症に対する体外式膜型人工肺 (ECMO) の有用性について検討することを目的としています。
研究内容：	2019年4月1日から2022年3月31日までにさいたま赤十字病院高度救命救急センターにおいて、偶発性低体温症と診断された18歳以上の患者さんが対象となります。診療録の中において、性別、年齢、日常生活動作（発症前）、居住環境、基礎疾患、内服薬、アルコール有無、発生日時、外気温、発生場所（屋内・屋外）、原因、来院までの時間経過、来院手段、バイタルサイン、血液検査結果、画像、心電図、復温治療法および転帰に関する情報を匿名化して、北海道大学病院の EDC (Electronic Data Capture) system に Web 上で登録します。その後、「偶発性低体温症における体外式膜型人工肺 (Extracorporeal membrane oxygenation; ECMO) の有用性についての学会主導多施設共同前向き観察研究グループ」にて集計・解析を行い、予後について検討を行います。
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先： （拒否等の受付窓口）	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 救急科 氏名：早川 桂 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 電話：048-852-1111